

## 乳房 MRI の scan protocol が画質および診断能に及ぼす影響の検証 に関する研究

### 1. 研究の対象

2020 年 1 月 1 日から 2025 年 10 月 31 日までに当院で乳房 MRI を撮像した患者さん

### 2. 研究目的・方法

本研究は、当院で行われている乳房 MRI 検査において、スキャンプロトコルの違いが画像の質および診断能にどのような影響を与えるかを検証することを目的としています。乳房 MRI は撮像条件によって描出される所見が変化することがあり、最適なプロトコルを検討することは検査の質と診断の精度向上に寄与すると考えられます。本研究では、診療の過程で取得された乳房 MRI 画像および関連する診療情報を用い、過去の検査データを後方視的に収集して解析を行います。データ解析は個人が特定できる情報はすべて削除したうえで使用し、患者さんに対して新たな検査や介入を行うことはありません。またデータ解析は院内のサーバを用い、外部サーバは用いる予定はなく、個人が特定できないよう加工したデータを用い院内でのみで行います。研究では、使用されたスキャンプロトコルごとに画像の質や診断能を比較し、その傾向を複数の放射線科医が評価します。得られた結果は、乳房 MRI 検査の質向上に役立てるとともに、学会発表や学術論文として公表される可能性があります。患者さんが特定されることはありません。

研究実施期間：研究実施許可日～2030 年 9 月 30 日

試料・情報の利用及び提供開始予定日：2026 年 1 月 5 日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、診療の過程で取得された乳房 MRI 画像および、画像評価に必要な最小限の診療情報を用います。具体的には、検査日、年齢、診断結果、使用された撮像プロトコルに関する情報などが含まれます。氏名や住所など、患者さんを直接特定できる情報はすべて除去したうえで解析を行い、本研究の目的に必要な範囲の情報のみを使用します。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

研究機関名：秋田大学医学系研究科

所属：放射線医学講座

職名：教授

氏名：森 菜緒子

電話番号：0188846179

住所：秋田市本道 1-1-1

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科

研究科長 羽渕 友則